

RealFoot

(型式 JMS-3110/3120)

操作マニュアル

お買い上げまことにありがとうございます。

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



目次

■安全上のご注意	3~4
■各部名称	5
■機械の接続	6~7
■計測の手順①	8
■足型を計測する	9
■計測の手順②	10~13
■足形の分析	14
■足表示画面の種類	15
■分析画面について（名称）	16
■分析結果について（参考）	17~18
■故障かな？と思ったら	19~20
■機械の仕様	21
■アフターサービスについて	22

安全上のご注意

ここではスキャナーについての注意事項を記載しています。それ以外の機器については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。

警告

死亡または重大な傷害を招く可能性のある危険。

注意

軽傷・中程度の傷害を負うか、物的損害のみをまねく可能性のある危険。



△記号は警告注意を促す内容であることを告げるものです。(左図は感電注意)



⊘記号は禁止の行為を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(図は立ち入り禁止)



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(図は差し込みプラグをコンセントから抜いてください)

	警告 この装置を使用する前には必ず操作説明書を読んで理解せよ。		警告 分解や改造をしない事 事故および火災、誤動作を招く。		警告 破損の恐れあり 負傷あるいは装置の損傷につながる。踏んだり、上に物を置いたりしない事。
	注意 破損の恐れあり 落したり、衝撃を与えたりしない事。		警告 点検・修理の前にスイッチを切り、主電源プラグを抜き取ること。		注意 回転部 運転中は、手や体を近づけるな。
		警告 感電注意 濡れた手でスイッチなどに触れない事。		警告 重量物注意 1名での持ち上げは腰や背中を痛めるか肉離れを起こす原因となる。	

- ・機械に水をかけないでください。
- ・機械から異音、異臭、発熱、発煙した場合は、直ちに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・お手入れの際は、(ガラス面以外は)アルコール ベンジン シンナー等の引火性溶剤を使用しないでください。
- ・高温多湿になる場所 及び 埃の多い場所に、設置 放置しないでください。
- ・長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

搬送時の注意事項



！機械搬送時は、必ず赤いレバーを下におろしてヘッド部を固定してください！

注)赤いレバーはスキャナー内部にあります。

注)赤いレバーを下におろす固定作業は必ず電源コードを抜いた後に行ってください。



注)レール部分に穴があります。

その穴に棒を差し込み、固定したことをご確認ください。



天地無用

搬送時は必ず天地無用でお願いします。

注)機械の内部の部品が破損する恐れがあります。

各部名称



◎機器を設置する際は必ず15A以上の容量のある電源を使用してください。

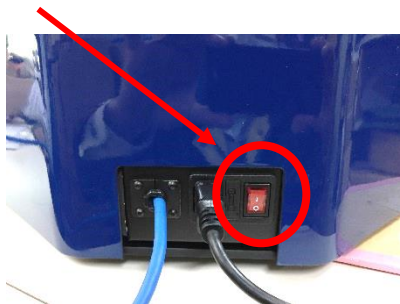
◎長期使用しない場合は必ず電源を切り、スキャナー保護の為、内部にほこり等が入らないようにしてください。

機械の接続

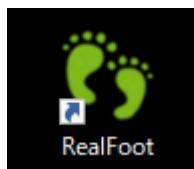
1. 周囲にある程度余裕のある場所に機械を設置します。
2. 計測機の電源コード、パソコンの電源コードをコンセントにつなぎ、スキャナーの USB ケーブルをパソコンとつなぎます。



3. 計測機の電源BOXの電源スイッチを入れ、パソコンの電源を入れてください。




4. デスクトップの「RealFoot」をダブルクリックします。



5. 計測画面が表示されます。

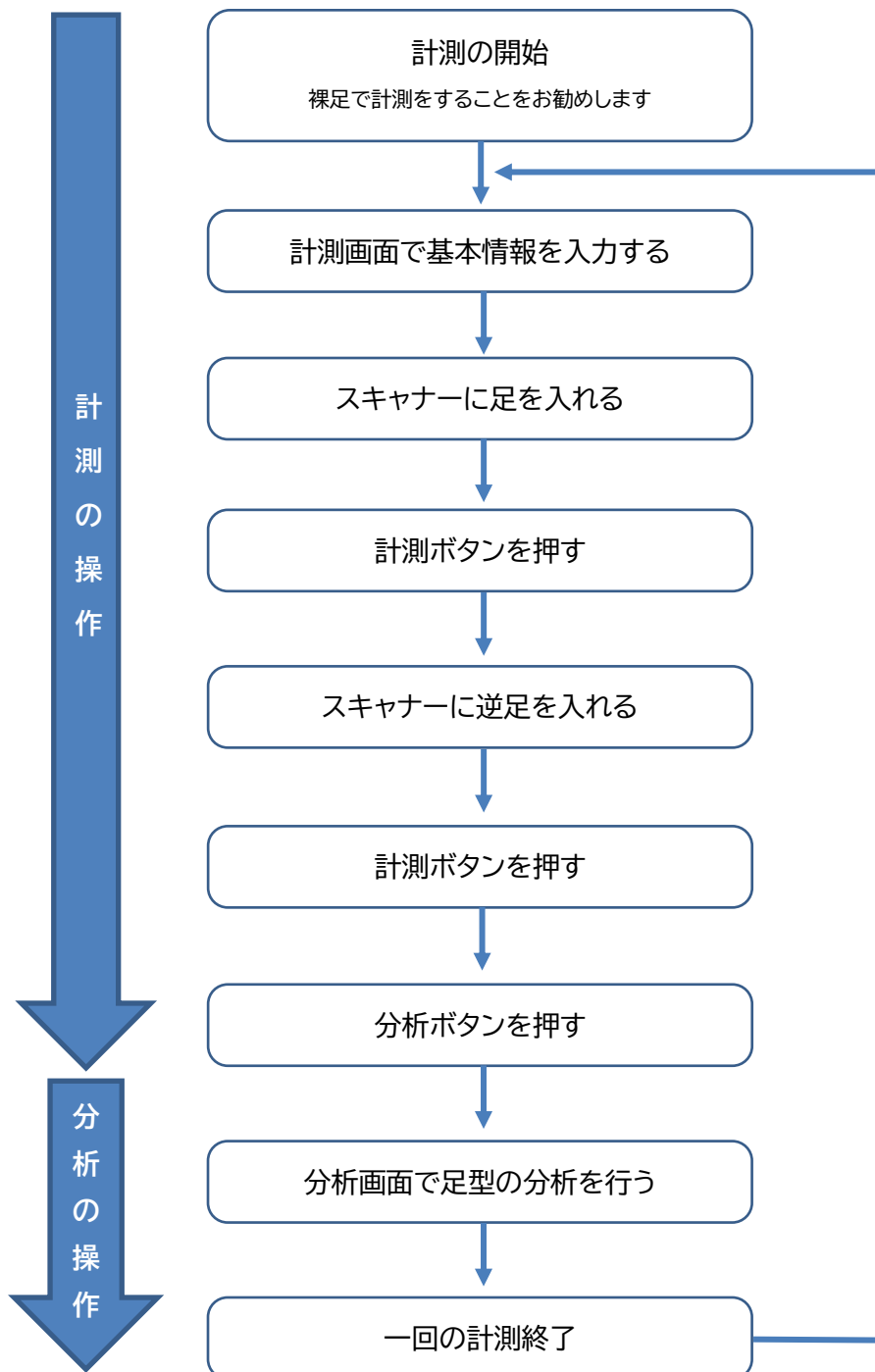


終了

1. 終了する場合は、足型計測画面に戻ってください。
2. 計測画面の  ボタンをクリックしてください。メッセージが表示されるので、「はい」をクリックしてください。
3. クリックすると自動的に計測システムが終了します。

計測の手順①

本機器はスキャナー本体、足型計測ソフトウェア、足型分析ソフトウェアから構成されます。それぞれの項目については次ページから説明しています。なお、計測・分析の操作順序は下記の通りになります。



足型を計測する

● 計測画面の説明

A) 氏名(任意)

B) 性別(必須)

C) 誕生日(推奨)

D) 年齢(推奨)

E) 大人・子供(必須)

F) 立位

立った状態で計測します。

左足計測

右足計測

のボタン

を押すことで計測されます。

G) 座位

座った状態で計測します。

左足計測

右足計測

のボタンを押すことで計測されます。

H) 既存インソール

オーダーインソールを作成される場合に現在靴に入っている既存のインソールを計測しておくことが出来ます。厚みについても記録を残すことができます。

I) 回内外チェック

インソール製作の目安にチェックができます。

J) 分析

分析画面に進みます。

※身長・体重入力のオプションもあります。

計測の手順②

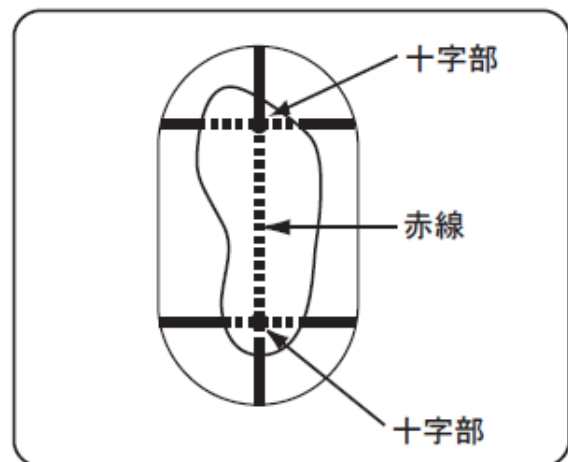
1. お客様の基本情報を入力します。

The screenshot shows the 'RealFoot' software interface. At the top, there is a search icon and a text input field for '氏名 (入力任意)' containing 'どりーむ太郎'. Below this are sections for '性別' (Gender) with radio buttons for '女性' and '男性' (selected), '誕生日' (Date of Birth) with fields for year, month, and day, '年齢' (Age) with a field for '25' and '歳', and '大人・子供' (Adult/Child) with radio buttons for '大人' (selected) and '子供'. There are also sections for '立位' (Standing) and '座位' (Seated) with '左足計測' and '右足計測' buttons. A '既存インソール' (Existing Insole) section has '左計測' and '右計測' buttons, and '高さ (mm)' (Height in mm) fields set to '0.0' with a '削除' (Delete) button. At the bottom left, there is a '回内外チェック' (Check for pronation/supination) section with radio buttons for '回内', '正常', and '回外'. A large blue '分析' (Analyze) button is at the bottom right.

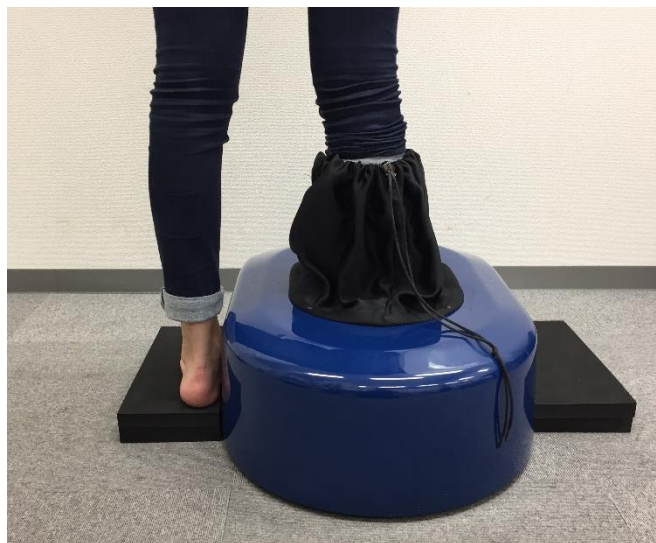
2. スキャナーに足を入れます

ガラス面の赤線十字部を、踵と爪先がそれぞれまたぐように足位置を合わせ、爪先は伸ばします。(右図参照)

両足に均等に体重がかかるようにしてください。



3. 計測中に外部からの光がスキャナー内部に入り込まないように付属の遮光用クロスで足のすきまを覆います。



精度良く計測するために次のことに注意してください。

※スキャナーのガラス面にほこりなどがつくると誤計測の原因となります。ガラス面はきれいにし、使用時以外はほこりが入らないようにしてください。

※計測中はガラス面で足を静止させてください。

※計測データは、計測中の体重のかけ方、靴下の厚み・たるみ、足のむくみなどにより計測するたびに異なります。

※スキャナーの破損、けがを防止するために、スキャナーに足を出し入れする時は、開口部に足が当たらないように注意してください。

※スキャナー本体の上には乗らないでください。

4. 計測を行います。

計測ボタンを押すと

RealFoot
氏名 (入力任意)
どりーむ太郎

性別
 女性 男性

立位
左足計測 処理中

誕生日
年 月 日

年齢
25 歳

大人・子供
 大人 子供

既存インソール
左計測 右計測

厚さ (mm) 0.0 0.0 削除

回内外チェック
 回内 正常 回外

分析

と変化します。

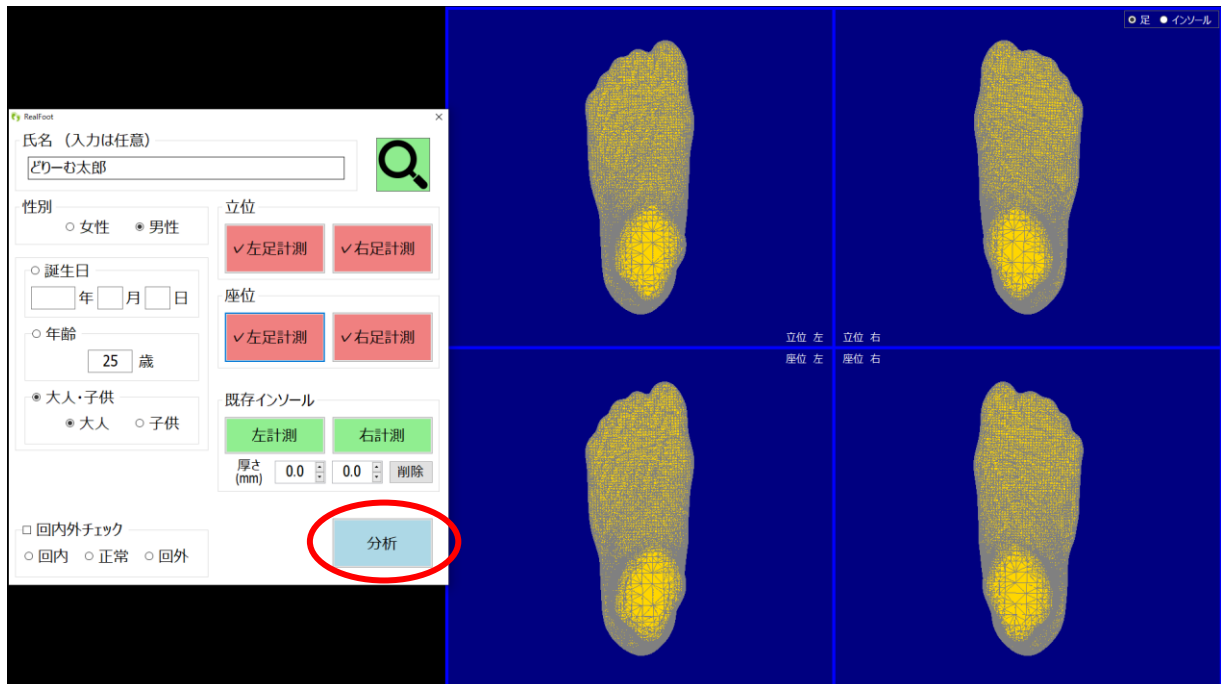
計測が完了すると3Dの足形が表示されます。



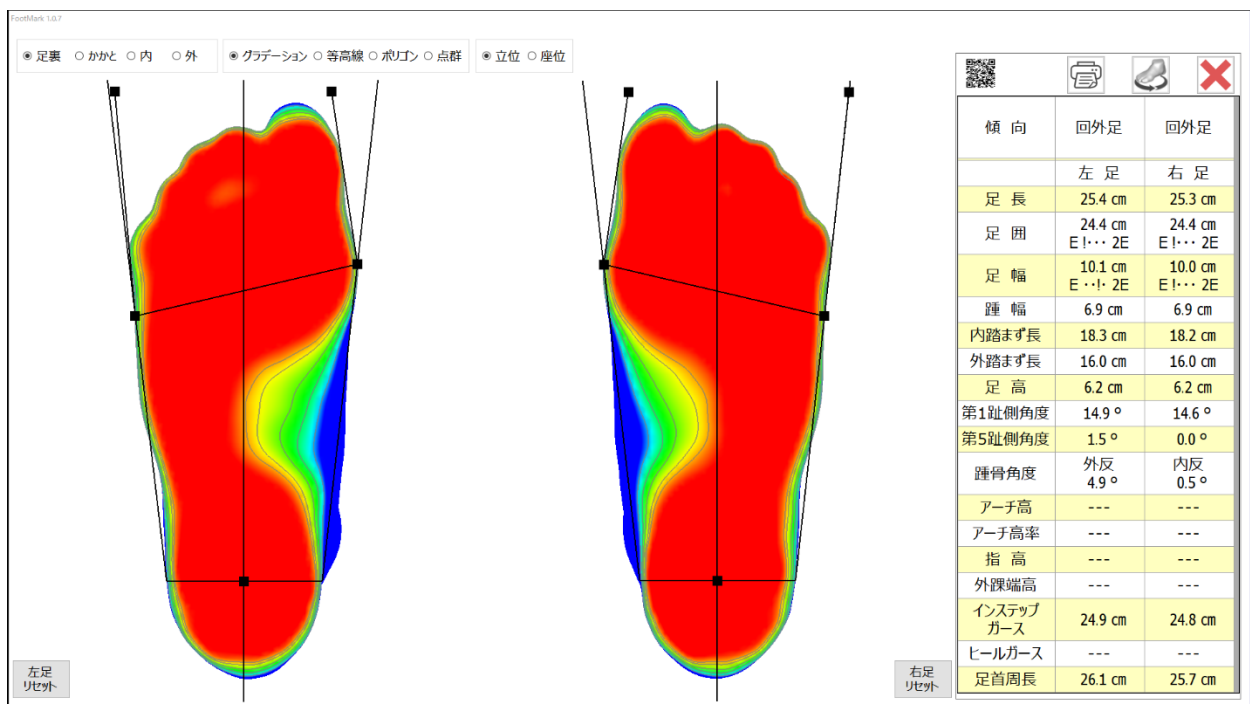
同じ手順で全ての足の計測を行ってください。

※ 足が正確に表示されたことを確認してください。

5. 分析を押します。



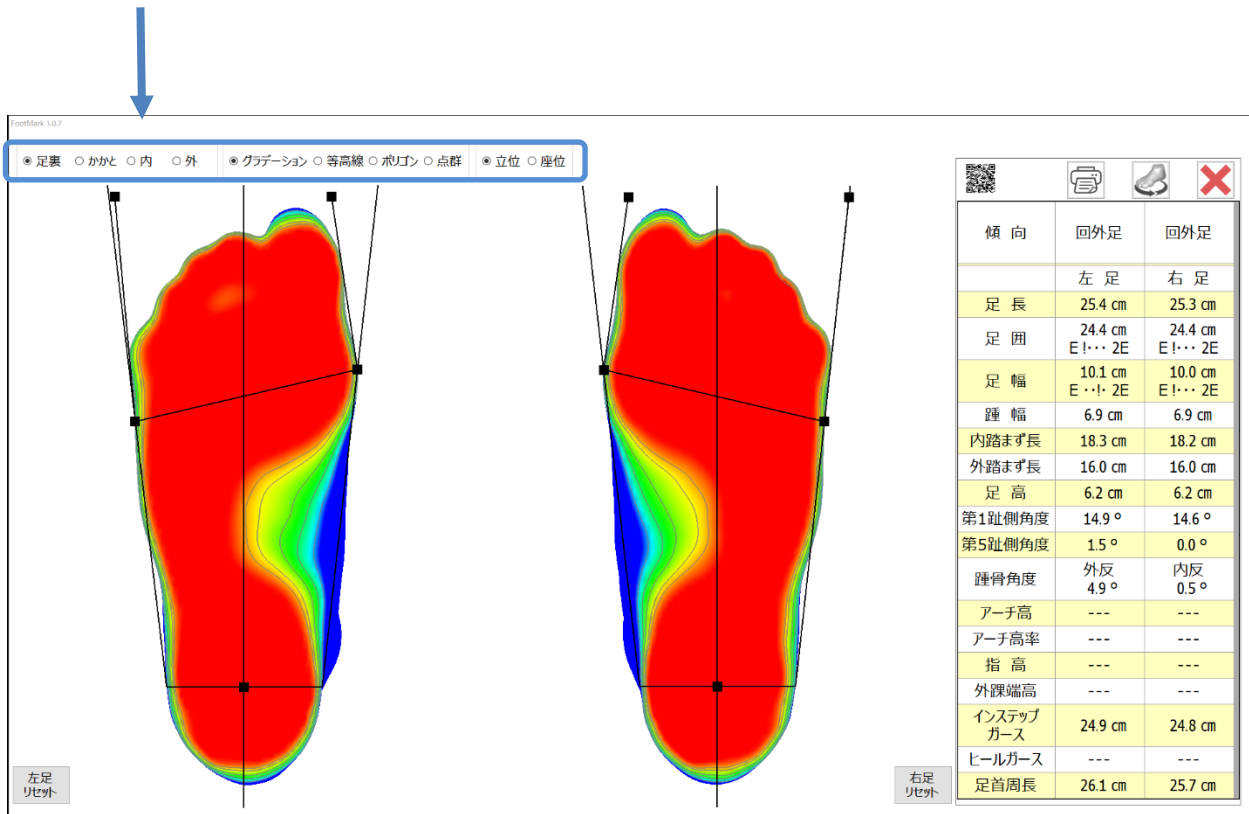
分析画面が表示されます。




足形の分析

- 足型分析の操作画面

表示画面の変更: クリックの場所を変更することで表示画面が変更できます。



: データをアップロードします。アップロードした後には QR コード  が表示されます。
QR コードを再度タップすると表示が大きく変更します。(Footbank 契約時)



: 足形3D 形状を表示します。



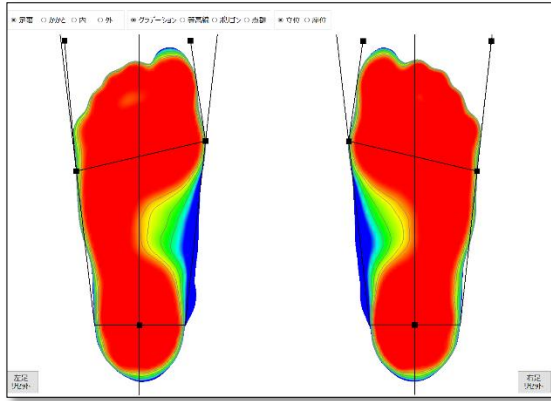
: 印刷画面に進みます。



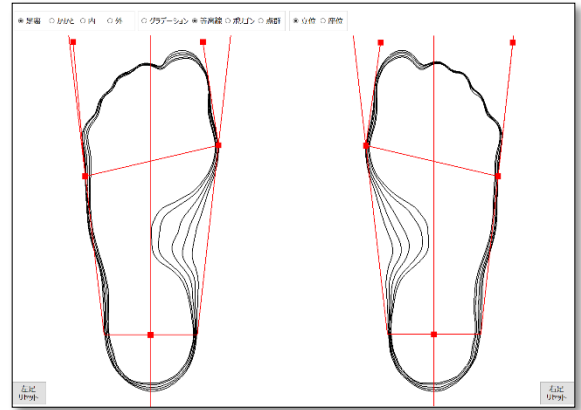
: 閉じるボタンで次の計測に進みます。

表示画面の種類

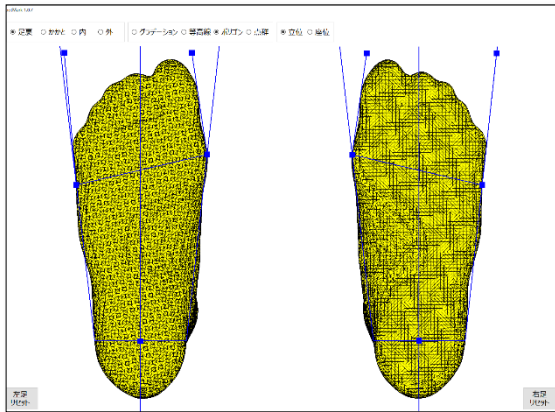
★グラデーション★



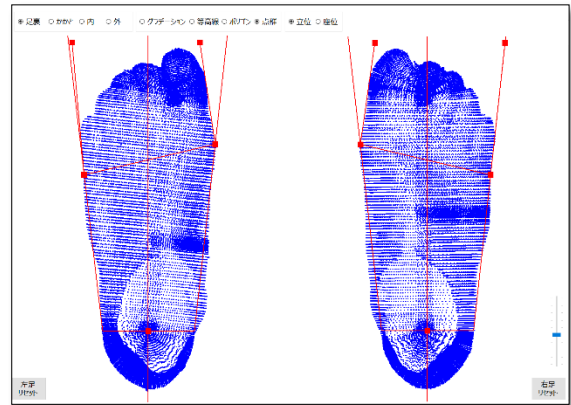
★等高線★



★ポリゴン★

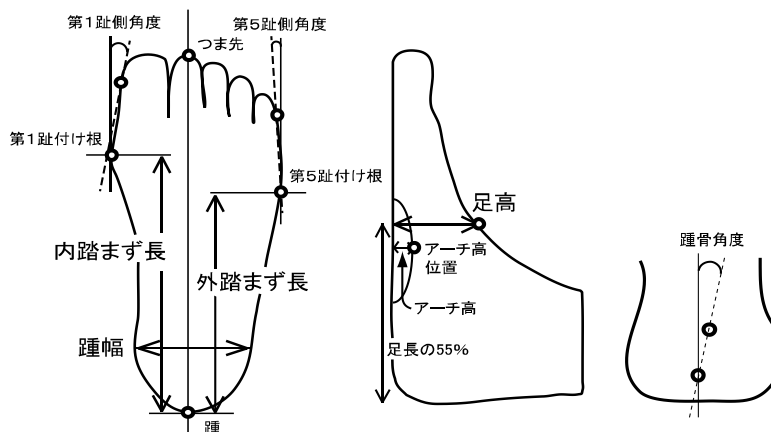


★点群★ ※オプション



分析画面について(名称)

表示		内容
足長	そくちょう	踵～つま先までの長さ
足囲	そくい	第1趾付け根～第5趾付け根までの周囲の長さ
足幅	そくふく	第1趾付け根～第5趾付け根までの幅
踵幅	かかとはば	足長の踵から17%位置、0～40mmの間の最大値
内踏まず長	うちふまずちょう	第1趾付け根から踵までの距離(足長の踵から72%位置) ※位置変更可能
外踏まず長	そとふまずちょう	第5趾付け根から踵までの距離(足長の踵から63%位置) ※位置変更可能
足高	あしだか	足長55%位置断面の最高点高さ
第1趾側角度	だいいっしそくかくど	第1趾付け根と第1趾側面との角度 ※位置変更可能
第5趾側角度	だいごしそくかくど	第5趾付け根と第5趾側面との角度 ※位置変更可能
踵骨角度	しょうこつかくど	踵骨の中心、そこより上部のアキレス腱中心と接地面の角度 ※位置変更可能
アーチ高	あーちこう	指定された点(アーチ:舟状骨)の接地面からの高さ(舟状骨位置目安として、踵から36%の位置にオレンジ色のバーが出てくる)
アーチ高率	あーちこうりつ	アーチ高率 = アーチ高 ÷ 足長 × 100
指高	しこう	指の最高点の接地面からの高さ ※作業が必要
外踝端高	がいかたんこう	外踝下の指定点の接地面からの高さ ※作業が必要
インステップガース	いんすてつぷがーす	足高周りの周径を自動で算出 ※変更不可
ヒールガース	ひーるがーす	踵と足首の前側を結ぶ周囲の寸法 ※作業が必要
足首周長	あしくびしゅうちょう	基本設定は、接地面から80mmの高さの足首周りの周径 ※計測高さ変更可能



分析結果について(参考)

● 足囲(足のワイズ選択に關与)

	B以下	C	D	E	2E	3E	4E以上
男性 (12歳以上)	非常に細い	非常に細い	細い	やや細い	平均	やや太い	太い
女性 (12歳以上)	非常に細い	細い	やや細い	平均	やや太い	太い	非常に太い
子供 (11歳以下)	非常に細い	非常に細い	細い	平均	平均	太い	非常に太い

● 踵幅(例:男性25cm、女性23cmを表示)

	足長サイズ	細い	平均的	太い
男性 (12歳以上)	25cm	65mm以下	66-69mm	70mm
女性 (12歳以上)	23cm	59mm以下	60-63mm	64mm
子供 (11歳以下)	なし			

● 第1趾側角度(外反母趾傾向)

角度	レベル	判定度合	コメント参照
0度未満	-----	内反傾向	問題ありません
0度~9度未満	-----	平均的	問題ありません
9度~15度未満	正常範囲内	平均的	問題ありません
15度以上	軽度外反母趾傾向	やや外反傾向	外反傾向で今後注意が必要です
20度以上(中度)	中度外反母趾傾向	外反傾向	外反傾向で今後注意が必要です
40度以上(重度)	重度外反母趾傾向	外反傾向	医療機関への相談が必要です

● 第5趾側角度(内反小趾傾向)

角度	レベル	判定度合	コメント参照
0度未満	-----	外反傾向	-----
0度～10度未満	正常範囲内	平均的	問題ありません
10度以上	軽度内反母趾傾向	内反傾向	内反傾向で今後注意が必要です
20度以上（中度）	中度内反母趾傾向	内反傾向	外反傾向で今後注意が必要です
30度以上（重度）	重度内反母趾傾向	内反傾向	医療機関への相談が必要です

● アーチ高率(アーチ高÷足長×100)

	扁平足傾向	平均	凹足（ハイアーチ）傾向
男性（10歳以上）	16.5%未満	16.5～19.5%	19.5%以上
女性（10歳以上）	14.5%未満	14.5～17.5%	17.5%以上
こども（10歳以下）	なし ※発育の途中なため決めきることができない		

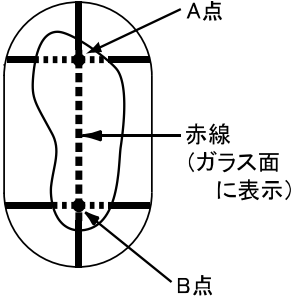
● 踵骨角度(LHA)

角度	判定度合	コメント参照
外反5度以上	外反傾向	踵が内側に倒れ外反傾向にあり回内足傾向です
外反1度～5度未満	正常範囲内	正常範囲内ですので問題ありません
内反1度～5度未満	正常範囲内	正常範囲内ですので問題ありません
内反5度以上	内反傾向	踵が外側に倒れ内反傾向にあり回外足傾向です

故障かな？と思ったら

まず、下の表を点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取り扱い説明書も参照にしながらあわせてご確認ください。

こんな場合	調べるところ（●：原因 ⇒：処置）
計測出来ない。動作もしない。	<p>●電源が入っていない可能性があります。 ⇒電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ⇒ケーブルの接続をご確認ください。 ⇒電源スイッチが入っているかご確認ください。</p> <p>●USB ケーブルが繋がっていない可能性があります。 ⇒USB ケーブルが接続されているかご確認ください。</p>
計測出来ない。異音がする。	<p>●搬送時固定の状態である可能性があります。 ⇒計測機内の搬送時固定用のレバーを引き上げ、固定を解放してください。</p>
計測出来ない。途中で止まる。	<p>●フラットケーブルがガラス面に出て、所定の位置にないことがあります。 ⇒フラットケーブルが足置き位置とレールの間に収まっているか？ご確認ください。</p> <p>●中に物が落ちて動作の妨げになっている可能性があります。 ⇒足置き位置とレールの上に物が落ちていないか？ゴミが溜まっていないか？固定治具、固定ネジなど取り忘れていないか？ 計測機の内部を覗いてご確認ください。</p>

<p>足型データが正常に出ない。 (ゆがみ、欠けがある)</p>	<p>●外部からの光が入り込んでいる可能性があります。 ⇒再度遮光用クロスですきまを覆い、計測してください。</p> <p>●正しい足位置で計測していますか？ ⇒所定の位置から前後左右に大きくずれていると、正しく計測されません。必ずガラス面に表示されている、赤線の十字部(右図 A 点 B 点)に足がかかっていることを確認してください。この A 点 B 点は計測時での渦の中心を表しています。</p> 
<p>回転するが画像が出ない。</p>	<p>●USB の認識異常の可能性がります。 ⇒USB ケーブルを抜いてパソコンの電源を切ってください。パソコンを立ち上げた後 USB ケーブルを接続してください。</p>

以上のことをお確かめください。

それでも調子が悪い場合は使用を中止し、弊社にご連絡ください。

機械の仕様

機器名称 3D足型自動計測機 RealFoot
型式 JMS-3110/3120

Input 入力電源 AC100V~240V

Input frequency 47Hz~60Hz

Input current 0.4A/100VAC (39.5W)

Temp. 温度 10~30℃

Humidity 湿度 30~70%RH

レーザー 655nm クラス1M (計測機内部で使用)

I/F 接続ケーブル①AC Input用×1 ②USB ×1

計測制限重量 150kg以内

本体重量 10Kg

大きさ 625×445×205

※医療機器ではありません。

※計測時間 15秒/足

※室内専用

アフターサービスについて

修理サービス製品について及びご転居の際のご相談は、当社指定のサービス会社にご依頼ください。

・機器の仕様変更やバージョンアップにより、アフターサービス時に予告なく仕様に変更される場合がありますのでご了承ください。

・お客様で計測されたデータは保証対象外となりますので、計測データのバックアップを行うことをお勧め致します。

・この製品を使用できるのは日本国内のみです。海外で使用する場合はお問い合わせください。

This appliance is designed for domestic use in Japan only

and please contact us if you would like to use in any other country.